

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束に該当するので、人員が足りている時、短時間でも開錠できるよう取り組んではいかがか。外に出る利用者には今後も付添い、見守ってほしい。	数時間でも開錠できる方向に努める	職員会議や運営推進会議などで話し合い理解を得られる様にしていく	6ヶ月
2	36 (14)	異性介助が慣れている場合であっても、事前に「私でいいですか」と声かけをすると利用者は安心するので、試みてはいかがか。	個人の希望に合わせて入浴支援をしていく	入浴の際に「私で良いですか」と声掛けしてみる	3ヶ月
3	54 (20)	居室内の排泄用品は、自分で交換する場合は取りやすい所に置くのがよいが、介助が必要な場合は利用者の尊厳を守るため、外から見えない工夫をしてはいかがか。	利用者様の尊厳を大切に配慮に努める	居室内のクローゼットや脱衣場などその方に適した置き場においてみる	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。